

1 戦略全般

- ①関連指標については、適宜見直しが必要
- ②今後取り組むべき事項について明確に伝わるよう工夫が必要
- ③ポストコロナを見据えた取組と喫緊の取組との整理が必要

2 ターゲットの明確化・重点

- ①戦略の推進にあたって、ターゲットの明確化・重点化をするべき
- ②北海道が世界に何を発信していくのかを明確にすることが重要

3 世界から取り込む

- ①グローバルネットワークの強化については、優れた技術、情報、人材、企業など、世界を取り込むような取組が大事

4 SDGsの推進

- ①SDGsの取組について、具体的に何を取り込んでいくのかということを強調することも必要

5 環境問題への対応と視点

- ①地球環境、環境問題への意識など、どのように取り込んでいくべきかを考えることが必要

6 デジタル化

- ①デジタル化への対応で勝ち負けが生まれる可能性があるということを認識することが大事
- ②デジタル技術を活用した洗練された情報共有や提供、こうした環境を構築できない方への支援・助言が必要
- ③観光の受入整備としてキャッシュレス化の推進が必要
- ④オープンイノベーションを促進し、課題解決を図ることも有効な手段

7 海外展開への取組

- ①道外や外国の方々が北海道のブランド力向上に付加価値をつけてくれるような取組を後押しすべき
- ②デジタル技術を活用しながら北海道の魅力をPRすることが必要
- ③在住外国人と連携しながら北海道の魅力を発信することが重要
- ④世界に何が売り込めるのか、その潜在力等に気づいてもらえるよう海外への情報提供、気づきを与える機会が重要
- ⑤海外展開の多角化に向けたプッシュ型の取組など、積極的な支援が重要
- ⑥北海道ブランドの確立、戦略的な活用に向け、「輸出産地の強靱化」の取組が重要
- ⑦ブランディング戦略等、産地を強固に改造していくという取組が必要
- ⑧MICE、IRなど具体的な取組方策を検討することが必要
- ⑨インバウンドの誘致に際しては、国内路線ネットワークを活かして誘客を行うことも必要
- ⑩どさんこプラザの拡充、越境EC等の取組が効果的

8 外国人材・多文化共生

- ①外国人に選ばれる北海道となるよう、外国人材の獲得に向けた取組の充実が必要
- ②技能実習生が北海道に残ることができるような施策が必要
- ③優れた人材を受入、グローバルなイノベーションを生み出すための環境、交流、協力の促進が必要、また、高度外国人材の受入も必要
- ④留学生の定着に向け、既存支援のネットワーク化が必要
- ⑤在住外国人の方々と地域活性化が図られるよう、地域と行政が一体となった取組が必要
- ⑥外国人雇用、技能実習に係るルールの徹底が必要
- ⑦交流・医療の外国語対応強化のほか、日本語教育の充実や住宅支援などが必要
- ⑧大学生などの若者が世界情勢やグローバル化の中で、北海道の現状などを理解することが必要
- ⑨多文化共生に向け、普及活動や相互理解促進を図ることが必要
- ⑩本道の開拓者精神の伝統を在住外国人にも享受できるようにすることが大事

9 交流基盤・環境

- ①大学、NPO等を含めたグローバルプレイヤーのネットワークづくりが重要
- ②道内重要港湾や国際空港を想定した国際物流拠点、企業誘致について検討をする価値があるのではないか

10 リスク対応

- ①災害発生時等、デジタル技術を活用し、北海道がどういう状況なのか発信し、外国人の不安を解消することが必要
- ②食糧確保の観点を含め、一次産業等のグローバルリスクへの対応を検討することが必要
- ③リバースピッチ等の手法も活用しながら、事業・サービス、手続きのオンライン化を進めていくことが必要
- ④取組イメージの内容がつかみどころがない